

# Identification of Coronary Artery Orifice to Prevent Coronary Complications in Bioprosthetic and Transcatheter Aortic Valve Replacement

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 立石, 渉 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/31338">http://hdl.handle.net/10470/31338</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2887 号	氏 名	立 石 渉
審 査 委 員 会	主 査 教 授	山 崎 健 二	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>大動脈弁置換術の際、冠動脈入口閉塞は最も重篤な合併症の一つである。本研究では、大動脈弁置換術を施行した 400 症例において、術前に大動脈 CT を用いて冠動脈入口部の解剖学的位置をスクリーニングして入口閉塞のリスク分析を行っている。バルサルバ洞マップ上に入口部位置の散布図を作成したところ、生体弁置換の際のステントポストと近接した症例が 8.5%、経カテーテル大動脈弁置換術の際、弁基部からの距離が 10 mm以下である症例が 9.8%と少なからず存在することを明らかにした。これらが大動脈弁置換術の際、冠動脈入口部閉塞のリスクが高い症例であり、術前にあらかじめ高リスクの症例には適切な術式・弁種選択・対処法で対処することでこの合併症を回避できる可能性を示唆した実用的かつ有用な研究である。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			